

目標9 女性の職業能力の開発と就労機会の拡大

【現状と課題】女性が自立していくためには経済的な自立が不可欠です。職業を通じて自己能力を高め、社会とのつながりを持ち、経済的自立を求める女性が増えています。

しかし、女性は結婚・妊娠・出産・育児・介護等のため、働く意欲はあっても途中で退職せざるを得ない場合や、再就職の際に、年齢制限等により希望する職業につけない場合や過去の職業経験が活かされない場合があります。

一方でまた、働き続けている場合でも、男女雇用機会均等法の十分な運用がされていない場合があり、女性が能力を発揮しにくい状況や男性と同様な研修の機会等が与えられないこともあります。

職業能力を向上させ、就労機会を拡大するために、キャリアを活かした仕事や働き方を求める女性や新たに起業家をめざす女性を対象とした学習機会の確保や、情報提供を行うなどの支援が必要です。

働き方の理想と現実

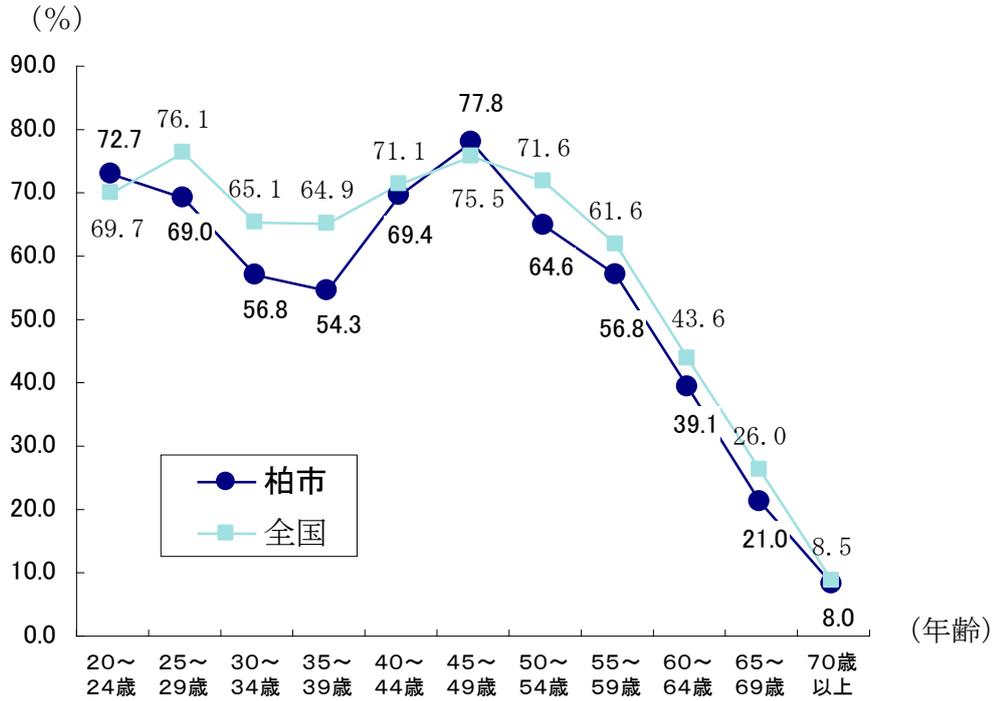
(%)

		現実の働き方								
		仕事を持たない	結婚するまで	子どもができるまで	ずっと仕事を続ける	大きくなったら再び仕事(フルタイム)を持つ	大きくなったら再び仕事(パートタイム)を持つ	家族の介護をするときは、仕事をやめた	その他	無回答
全 体		8.3	9.4	8.2	16.1	11.7	34.5	3.3	3.4	5.2
働 き 方 の 理 想	仕事を持たない方がよい	28.6	14.3	7.1	14.3	14.3	0.0	7.1	0.0	14.3
	結婚するまで	14.0	36.8	12.3	7.0	3.5	15.8	3.5	1.8	5.3
	子どもができるまで	10.3	16.2	32.4	4.4	7.4	13.2	4.4	1.5	10.3
	ずっと仕事を続ける方がよい	7.1	5.4	6.3	44.6	9.4	20.5	0.4	3.1	3.1
	大きくなったら再び仕事(フルタイム)を持つ方がよい	8.6	9.7	7.1	9.7	28.8	27.7	2.6	1.9	3.7
	大きくなったら再び仕事(パートタイム)を持つ方がよい	7.3	7.3	6.3	7.3	3.8	58.7	2.5	2.0	4.6
	家族の介護をするときは、仕事をやめた方がよい	6.5	3.2	6.5	6.5	9.7	12.9	38.7	3.2	12.9
	その他	8.4	4.8	4.8	21.7	10.8	22.9	1.2	20.5	4.8

※下線・網掛けのある部分が、理想どおりに働いている人の割合を示しています。

「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」平成21年度

年齢別にみる女性の年齢階級別就労率（働いていると回答している人の比率）



※全国は、平成21年版「男女共同参画白書」より抜粋，平成20年年齢階級別労働力率
 柏市は、平成21年度「柏市男女共同参画に関する市民意識調査」で作成した就労率

施策	具体的な施策	担当課
(1) 職業能力の向上と経済的自立に向けた支援	<p>①女性経営者、就職希望者への支援 女性の職業能力を向上させ、より適した職業をみつけるため、相談・支援等の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性向け就労支援 ・コミュニティビジネスの支援 ・起業や就労に関する情報の提供 ・ハローワークと連携した就労支援活動の強化 	商工振興課 商工振興課 商工振興課 商工振興課

あなたができること
 ・講座の受講や情報の収集を心がけ職業能力を高めましょう